

2023年度事業計画

北海道エアポート株式会社

■ 取組方針

- 7 空港上下一体運営の強みを活かし、環境変化に応じた事業基盤の強化に向けた取組を加速させ、安全・安心で効率的な空港運営を実施します。
- 新型コロナウイルス感染症の影響や水際対策の状況を見極めつつ、北海道への誘客促進と路線開拓に関係者と緊密に連携しながら取り組み、航空需要の回復・拡大に努めます。
- 将来的な需要回復・拡大を見据え、マスタープランに掲げる「マルチツーリズムゲートウェイ」を実現すべく、安全・安心に最大限配慮しつつ、旅客の利便性向上に向けた各種施策を投資対効果を踏まえながら着実に実行します。

■ 旅客数等の目標値（カッコ内はコロナ前（2019暦年比）回復率）

		新千歳	稚内	釧路	函館	旭川	帯広	女満別	7 空港計
旅客数 (万人)	国内線	1,910.9	18.2	76.8	159.0	96.1	61.3	81.1	2,403.4万人 (92%)
	国際線	241.2	0.0	0.0	4.0	2.4	0.0	0.0	247.6万人 (61%)
	合計	2,152.1	18.2	76.8	163.0	98.5	61.3	81.1	2,651.0万人 (88%)
貨物量(百t)		1,505	0.8	19	56	47	26	14	1,671百t

■ 損益計画

	2023年度
営業収益 ※1	450億円
営業費用	559億円
営業損益	▲109億円
EBITDA ※2	100億円

※1 新収益認識基準を適用（旧基準：820億円）

※2 営業損益に減価償却費を足し戻した経営指標

安定した事業実施体制の確立、安全・安心かつ効率的な空港運営の推進

■ 空港運営事業・ビル施設事業等における取組

- ・ 7空港一体運営におけるプロ人材の育成等、事業実施体制の強化に向けた取り組みの推進
- ・ 国際線の運航再開に伴うグランドハンドリング体制の構築等、受入環境の段階的整備
- ・ 7空港一体運営によるバンドリングメリットや空港間連携を活かした収益拡大施策・費用削減施策の検討
- ・ DX・技術革新、脱炭素技術を積極的に取り入れ寒冷地空港の特性に応じた先進的なインフラ運営の実証

■ 地域との連携・共生

- ・ 航空需要の喚起や空港における賑わい創出、交流人口増大に向けた地域と連携した取組の実施
- ・ 多様な企業・自治体とのコラボレーションを通じた新たな価値創出へのチャレンジ

航空・観光需要の回復に向けた取組み

■ 航空ネットワーク拡大

- ・ 7空港一体での航空営業、着陸料等の割引制度・インセンティブを活用したマーケティング戦略の推進
- ・ 新規就航および早期復便に向けたエアラインへの誘致活動・受入環境整備に向けた取組の継続
 - ▶ ターゲット路線の就航サポートとなるプロモーション等エアラインとの連携施策の実施
 - ▶ 新千歳空港に加え、函館空港および旭川空港における国際線受入に向けた関係者一体での体制・環境整備
- ・ 新千歳空港発着の国際線旅客便を活用した北海道産品の輸出促進
- ・ ビジネスジェット専用施設の供用開始に伴う運用および営業体制の構築

■ 広域観光の振興

- ・ 観光需要の受皿として北海道エリアの競争優位性を高めるべく、北海道、北海道観光振興機構、北海道運輸局とターゲットとなる顧客層を共有し、協調と役割分担による効率的な北海道観光プロモーションの展開
- ・ 個人旅行需要の拡大に応じた観光商品造成やSNS等デジタルメディアを活用し、重要顧客（若年世代等）へのプロモーションを実施する等、デジタルマーケティング施策の推進・強化
- ・ ATWS2023リアル開催等の道内観光トピックスを意識した観光資源の洗い出し・磨き上げや、コロナ禍によって変容した旅行ニーズへ対応したサービス提供等、地域に根差した周遊観光について地域と共に推進

空港施設の利便性・安全性向上に向けた施策の推進

- 安全・安心の空港運営に向けた計画的で着実な更新投資の実施
 - 利便性向上や空港処理能力向上に向けた拡張投資の検討・実施
 - 将来の収益基盤の確立に向けた投資対効果を踏まえた各種投資の検討・実施
- **7 空港共通**
- 安全・安心な空港運営に資する滑走路、誘導路、航空灯火、照明設備、電源設備等の更新に係る設計及び工事
 - 空港のカーボンニュートラル化に向けた各種施策の検討
- **新千歳空港**
- 国内線施設等改修に係る設計の継続
 - ビジネスジェット専用施設新設工事、国際貨物ビル上屋拡張工事 等
- **稚内空港**
- 国内線施設改修に係る設計の継続
 - 老朽化設備改修工事
- **釧路空港**
- 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事
- **函館空港**
- 国内線施設改修に係る設計の継続及び工事
 - 駐車場拡張に係る設計の継続
- **旭川空港**
- 国内線施設改修に係る設計の継続
 - 駐車場拡張に係る設計の継続
- **帯広空港**
- 国内線施設改修に係る設計の継続
 - 駐車場拡張に係る設計の継続及び工事
- **女満別空港**
- 国内線施設改修に係る設計の継続

【航空灯火更新（LED化）参考写真】



【新千歳空港国際貨物ビル上屋完成イメージ】



■ 2023年度 設備投資計画

		機能維持投資	活性化投資	合計	主な投資内容
投資額合計		102.4億円	27.3億円	129.7億円	
本社	エアサイド	0.0億円	0.0億円	0.0億円	<機能維持投資> エアサイド：空港基本施設、空港用地の維持管理・更新等 ランドサイド：旅客ビル施設に関する修繕・更新、テナント関連工事等
	ランドサイド	8.2億円	5.4億円	13.6億円	
新千歳 (含むCFF)	エアサイド	25.8億円	0.3億円	26.1億円	ランドサイド：旅客ビル施設に関する修繕・更新、テナント関連工事等
	ランドサイド	35.6億円	10.6億円	46.3億円	
稚内	エアサイド	2.7億円	0.0億円	2.7億円	<活性化投資> 新千歳：国内線施設等改修に係る設計の継続、 ビジネスジェット専用施設新設工事、国際貨物ビル上屋拡張工事 稚内：国内線施設改修に係る設計の継続、老朽化設備改修工事
	ランドサイド	0.0億円	0.5億円	0.5億円	
釧路	エアサイド	4.7億円	0.0億円	4.7億円	釧路：国内線施設改修に係る設計の継続及び工事
	ランドサイド	1.6億円	1.0億円	2.6億円	
函館	エアサイド	4.6億円	0.1億円	4.7億円	函館：国内線施設改修に係る設計の継続及び工事、駐車場拡張に係る設計の継続
	ランドサイド	4.2億円	2.5億円	6.7億円	
旭川	エアサイド	7.5億円	0.3億円	7.7億円	旭川：国内線施設改修に係る設計の継続、駐車場拡張に係る設計の継続 帯広：国内線施設改修に係る設計の継続、駐車場拡張に係る設計の継続及び工事
	ランドサイド	2.5億円	1.0億円	3.5億円	
帯広	エアサイド	0.4億円	4.5億円	4.9億円	女満別：国内線施設改修に係る設計の継続 7空港全般：サイバーセキュリティ対策、HOC、AODB等
	ランドサイド	3.2億円	0.6億円	3.8億円	
女満別	エアサイド	1.4億円	0.0億円	1.4億円	
	ランドサイド	0.0億円	0.6億円	0.6億円	